

厳正・公平な対応を心がけるレーニン

二七四 エリ・ア・フォチエヴァへ*

一

布告をくぐってはいけません。こういう申し出をするだけでも、裁判にまわされますよ。しかし、中央執行委員会をつうじて、例外を認めることはできるし、私もそれをおすすめします。

二

法律を知らなければなりません。だれをつうじて例外が認められるか、覚えていません。

事項訳注P653

* 人民委員会議の書記フォチエヴァは、人民委員会議総務部の職員集団ビューローから推薦された新しい婦人職員一名を人民委員会議書記局の仕事に採用してほしいと、レーニンに頼んだ。人民委員会議総務部長ボンチーブルエーヴィチは、採用に反対し、『ソヴェト機関における近親者共同勤務の不許可について』の布告をあげた（その婦人の姉が人民委員会議で働いていたので）。これについてフォチエヴァは、この婦人が「非常に有能な働き手なので、彼女の採用いかんは私たちの関心の的です……。布告をくぐるわけにはいきませんか？」と書いていた。注) ……は本文中の表記

第44巻『エリ・ア・フォチエヴァへ』P229

1919年3月4日に執筆

1945年に『レーニンスキー・ズボールニク』第35巻にはじめて発表

手稿によって印刷